栄町・ベルフランスのレポート 2009年11月

sakuma さんより、栄町・ベルフランスのレポートをいただきました。タイトルは「ぶらり途中下車をしない旅～栄町～」ですw

旅立ち

今日は総武線のとある駅で待ち合わせです。おや？今日の旅人は……？ sakuma「あ、どうもおはようございます！」あらー、sakuma さんじゃないですか。今日はどちらへ？ sakuma「今日はですねー千葉県の栄町に行こうかと思ってます。うへへ。」おやおや、ずいぶん目が血走ってますね。いったいこの後どうなっちゃうんでしょうか？ところで sakuma さん。なんで栄町に行こうなんて思ったんですか？ここからでしたら吉原の方が近いじゃないですか。 sakuma「いえ、それはですね。とあるインターネットのサイトで栄町の事を熱心に紹介している方がいらっやって……ちょっと興味がwww」あは。そうですか、そうですか。

sakuma「じゃ、早速いきましょう！うへへへ……。」はいはい。 sakuma さんは途中で総武快速線に乗り換えて一気に千葉駅へ。ホントに途中下車しませんでしたねー。さて、千葉駅東口で降りた sakuma さん。どこに行くんでしょうか……？おやおや、まずは銀行ですか。あはー。 sakuma「軍資金です。ま、30K以内だと思っんでこれくらい……っと。」お財布も潤ったようです。この後はどんな女の子を潤させるのでしょうか。楽しみですね～。

お誘い

栄町に足を踏み入れ、ぶらり……。おや？きょろきょろと何を探しているんでしょう？ sakuma「事前に行く店は当たりをつけたんですが、えーっと……プラザ2 かあんみつ姫なんですけど……。」 sakuma さんは数年ぶりの栄町のようで、勝手にわからないようですね。

おや？誰かが声をかけてきましたよ。ボーイ「お写真だけでも。ね？ね？」 sakuma「……えーっと、総額いくらです？」ボーイ「それは写真見てからにしましょうよ。さ。さ。」おやおや、sakuma さんお店に入っちゃいましたよ。お店の名前は……えーっと、ベル・フランスと言う名前ですね。カウンターには、あはっ。ママさん風の女性がいらっやいますよ。ママ「いらっやい。まあ、いいところに！うちのオススメがすぐ入れますよ。」 sakuma「えーっと……総額……。」ママ「25Kなんですけど、早朝なので23Kで90分。70分なら20K」予算の範囲ですね。おや、sakuma さん写真を見ちゃってますよ。 sakuma「うーん、他の店も回ろうかと思ってるんですけど。栄町10年ぶり（適当）なんで散歩もしようかなーと。」ママ「まあ、10年ぶり！いつも行くところとかあるのかしら？」 sakuma「吉原メインです。」ママ「吉原はね、いいお店たくさんあるだろうけど、千葉はね、なんてっ たって情が深いからね……。」とまあ、ママさんとお話始めちゃいましたよ。どうするんですか？ sakuma さん。 sakuma「うーん……じゃ、新人のこの子で90分。」あらー、決めちゃいましたか。あは。 sakuma さんは3Kを財布から出しました。

出会い

そのままロビーに案内された sakuma さん。女の子を決めたポイントはなんですか？ sakuma「おっばい。おっばい。おっばい……。」あらら、もう話しかけても無駄のようです。準備ができるまでママさんと sakuma さんは栄町についての話をしているようです。こういう所は吉原とはまた違った感じですね。さて、sakuma さん。ご案内のようですよ。女の

子ですが乳房が半分見えてるセクシーなドレスで sakuma さんをお出迎え です。 おや、誰かに似てませんか？ sakuma 「そこはかたなくミムラさん（マサカズにあらずw）に似てますね。好みですよ。おっぱいも大きそうでなによりです。」 あは。第一印象は良いみたいですね。ふたりは妙に揺れるエレベーターに乗り込み2Fへ。 ミムラ「こちらになります。」 まあー、広いお部屋ですこと！ sakuma 「吉原に比べると倍以上広いですね。」 おや、sakuma さん早速脱ぎ始めてますよ。 sakuma 「暑い。」 ミムラ「あ、暑いですが、ごめんなさい。」 TシャツとGパンになった sakuma さん。女の子は備え付けの冷蔵庫の前でお茶の準備をしていますね。 ミムラ「お飲物は？」 sakuma 「あ、じゃあウーロン茶で。」 おやおや、sakuma さんウーロン茶何杯おかわりするんですか？ 女の子も笑っていますよ。

触れ合い

やっとこ落ち着いた sakuma さん。女の子が脱がしにかかっています。 パンツ1枚になったところで女の子は sakuma さんの後ろでスルリと脱ぎ終わります。 sakuma 「うえっ。いつの間に。脱ぐところ見たかったのに。」 あはー、sakuma さんってば。お湯の準備もできているようで女の子はお風呂場へ。 sakuma さんはその後ろ姿を見送ります。ちょっと、sakuma さん見すぎですよ。何を見てるんですか？ sakuma 「おしり。うーん、ちょっと下がり気味ですかね。残念です。」 最近はずっといいお尻な子ばかりだったですからね。まあまあいいじゃないですか。おっぱいは好みでしたか？ sakuma 「もう、期待通りのおっぱいですね。うへへへ。」 ささ、sakuma さん、女の子が準備できたようですよ。最後の1枚を脱いでお楽しみ始めましょう。 sakuma 「ですね。うひひ。」 パンツを脱いで息子がぶらり……。女の子は丁寧に sakuma さんの体を洗います。 あ、sakuma さんってばもうおっぱいに手がいってます。 ミムラ「足は冷たいみたいですね。お湯の方へどうぞ。」 sakuma さんは言われた通り湯船へ。 おや、この湯船はずいぶん浅いようですね。 sakuma さんの腰のところまでしかつかからないようです。 sakuma 「でも、そのぶん広いですよ。良い感じですよ。」 女の子はマットの準備を終えて湯船に入ります。 ミムラ「じゃ、失礼しまーす。」 あっはー、パクッと sakuma さんの息子さんが食べられちゃってますよ。 おやおや、息子さんが成長を始めちゃいましたよ。 sakuma 「湯船が浅いんで体制的に結構楽ですね。うっ……。」 頃合いも良い頃になってマットへ行きます。ローションを塗りたくっていつものようにうつ伏せからですね。 どうですか？ sakuma さん。 sakuma 「うーん、ソフトタッチ系ですかね。でも的確にツボはついてますよ。うっ……。」 良かったですねー。女の子は背中、足、お尻と sakuma さんの体中にその舌を這わせてます。仰向けになった sakuma さん……あっはー、ホントに気持ちいいんですね。 バビルの塔がそそり立ってますよ。 女の子は続けて舌を這わせていると……おや、集中的に sakuma さんのおいなりさんを攻めてますよ。 あっはー、sakuma さんってばまたウィークポイントがばれちゃいましたねー。 sakuma 「いや、ホントに気持ちいい。だめ、いきそう……。」 おやおや、侵入どころか帽子もかぶってないのに。 ミムラ「ふふ。じゃあ入れちゃいますね。」 女の子が準備をして sakuma さんに乗ります。あっはー動いてますねー。 どうですか？ sakuma さん。 sakuma 「あ……。」 あっらー早いんですねー。女の子もちょっと苦笑いしています。

解り合い

さて、マットの片づけを終えて広めのベットへと移ります。 sakuma 「この子素人新人じゃないですね。マットやばすぎです。」 そうなんですか？ ミムラ「以前は吉原で働いてましたよ。えーっと××ってお店ご存知ですか？」 sakuma 「そーなんだー。」 どうやらご納得の様子。 ささ、sakuma さん2回目の雰囲気出てきましたよ。 ウーロン茶飲みすぎですってば。 sakuma

「じゃ、こっちから攻めよう。さっきのおかえしだー。」 広めのベットに女の子を寝かして sakuma さんが攻めに入るようです。 おや、やっぱりおっぱいですね。 そしていつものように腰の下から手をまわして女の子の あたりをさわさわ と…… あらー、sakuma さんの頭が あたりに移動します。人差し指も のちよい下 あたりでうねうねと動かしちゃって……。

おやおや、女の子の腰がガクガクしていますよ。 sakuma さんやりすぎじゃな いですか？

sakuma 「もう、いくと言うまでやろうと思ったのに言わないんですよ。いっ たのかなー、たぶん。」 sakuma さん、見てください。女の子のほっぺはほんのり桜色ですよ。 sakuma 「萌ー。」

女の子はぎこちなく帽子の装着をします。手元が時々ブレちゃいのはご愛嬌 ってところでしょうか。 ささ、sakuma さん。もう動いちゃって、振っちゃってくださいね。 ……。

えー？ 終わりですか？ 早いんですねー。 sakuma 「2 回目は結構楽しめるはずなのに、桜色のほっぺにやられちゃって ……」 あはー、言い訳はいいですよ。気持ちよかったんですね。

次の旅へ

おやおや、sakuma さんと女の子は楽しそうに話をしていますよ。 良い雰囲気の中ですがそろそろですよ。 sakuma 「あ、そうか。」 お財布から 20K を女の子に渡します。 ふたりは部屋を出てガクガクのエレベータに乗ります。 降りると女の子とはここでお別れ。 ママさんがお出向かえしていますよ。 sakuma さんとママさんはしばらくフロントで違う女の子について話をしています。 sakuma 「また来ます。」 お店を出る sakuma さん。いかがでした？ sakuma 「いやー、良かったです。本当に。思ってたよりも十分楽しめました よ。栄町もまだまだ元気ですよ。」 あっはー、よかったですね。 sakuma 「では、この辺でお別れです。また来たいと思います。ではっ。」 季節はもう冬。 寒い日はお鍋をつつくのも良いですが、たまにはかわいい女の子といっしょ に お風呂に入ってみませんか？ 体も心も温まる事間違いありませんよ。

それでは今回の旅はこの辺で。 散策

ロビンの感想

毎回、長文レポートありがとうございます。 途中下車して、船橋によってみたくはありませんか？ まだ、お店があるのかちょっと不安ですけどw